

肥料を使わないお米づくりに挑戦！

「自然栽培」実践レポート (平成27年第1号)

発行：杉野自然栽培研究会 (杉野地区地域づくり協議会)・長浜市北部振興局産業振興課

自然栽培ってどんなもの？

- ☆自然栽培は肥料を使わずに農作物を育てます。除草剤や農薬も使いません。
- ☆土の中の微生物の力を利用します。(基本的に外部からの微生物投入は行いません。)
- ☆微生物と植物の共生関係を築き、植物自身が持つ生命力を極限まで引き出す栽培方法です。
- ☆人は、植物が成長するお手伝いをするものです。

自然栽培でめざすものは？

- ☆自然栽培は肥料や除草剤や農薬などを使わないため、**低コスト化**が図れます。
- ☆自然栽培は肥料や除草剤や農薬などを使わないため、**安心安全**な農作物になります。
- ☆遊休農地などは微生物が豊富で自然栽培に向いているとも言われており、遊休農地の活用につながります。
- ☆慣行栽培との差別化により**高付加価値化**をめざします。

自然栽培のやり方は？

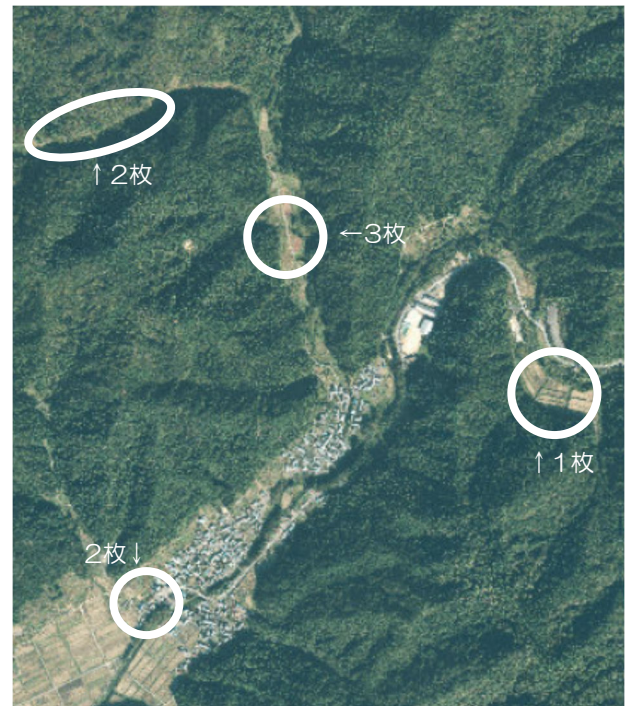
- ☆自然栽培には、“こうしなければならない”といった決まったルールがある訳ではありません。
- ☆農薬や肥料、土壌改良剤を使用しない、有機物も原則使用しないで栽培するため、各栽培者が創意工夫されて栽培されています。
- ☆杉野では、主に「木村式自然栽培」をお手本として栽培に取り組んでいます。
- ☆実践にあたっては、米原市内の実践者や石川県のJAはくいの方々と情報交換を行いながら取り組んでいます。

杉野自然栽培研究会あとかき

昨年、一緒に取り組んでいる米原市の伊吹地域の方々の自然栽培の田んぼを見せていただいた時、慣行栽培と全く見劣りしないきれいな黄金色の田んぼを見て、感動しました。

今年の杉野のチャレンジを温かく見守ってくださいませ。

杉野での取り組み



- ☆今年は、共同管理の田んぼと4名の方の個人管理の田んぼで自然栽培の米づくりに挑戦します！
- ☆品種はコシヒカリで、慣行と同じ苗を使います。

事例 ～ 荒起こし ～

自然栽培の荒起こし

- ☆春、土が十分乾燥している時に耕起します。(「乾土効果」を促し土の力を有効にするもの。)
乾かして雑草を生えにくくします。乾きにくい田は、周りに溝を切って排水して乾かします。
- ☆田んぼを十分乾燥させた上で、晴天が続いた日に「浅く」「荒く」起こします。「浅く」は10cm程度、「荒く」はティッシュペーパー大。
- ☆代かきの1か月前に荒起こしして乾かします。

杉野では・・・

メンバーは兼業農家が多く、慣行栽培の田んぼと同時に栽培に取り組むことから、省力化を念頭に作業を行うこととしました。

荒起こしは、慣行栽培と同様の方法で耕起しました。